

平成28年度 行政評価の取組結果（財政局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H28年度			H27年度			H26年度			H30年度予算要求に向けた施策の方向性			
					指標名等	現状値（基準値）	H27年度	H28年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由		局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
IV-4-(2)-② 北九州を応援する人のネットワークによる情報発信	1	ふるさと寄附金促進事業	税制課	「ふるさと北九州市応援寄附金」についてPRし、寄附件数及び寄附金額の増加を図る。 また、寄附金の使い道を寄附者が選択できる仕組みと一定額以上の寄附者に対する地元特産品等の贈呈を通じ、本市の魅力を全国に発信する。	寄附件数	目標	前年度(3,715件) 比増	前年度(4,068件) 比増	—	30,000	28,433	24,749	2,115	課長	0.01 人	やや遅れ	目標への達成状況は下回っているため、「やや遅れ」と評価した。 全国的なふるさと納税事業の状況として、ふるさと納税の趣旨を外れた高額な返礼品を取り扱う自治体が多く現れたことによる返礼品競争が始まり、本市としては、返礼品数を増加（対前年度18増の計111種類）させるなどの魅力向上に努めたが、結果としては、他自治体へ寄附が流れていったことで本市への寄附者が減ったと思われる。	やや遅れ	【評価理由】 前年度に比べ、返礼品メニュー数は増加しているが、寄附件数及び寄附金額は減少しているため、「やや遅れ」と判断した。  【課題】 税制度の専門的な業務を行う部署であり、返礼品の工夫、効果的なPR方法などのノウハウが十分でない。	市の魅力発信において重要なツールであるため、関係部署と連携し、全庁的な取組みを行う。	
						実績	4,068 件	2,931 件	—					係長	0.05 人						
						達成率	109.5 %	72.1 %	—					職員	0.20 人						
						寄附金額	目標	前年度(約5,960万円) 比増	前年度(約7,700万円) 比増												—
							実績	約7,700 万円	約6,600 万円												—
							達成率	129.2 %	85.7 %												—
V-3-(2)-② 公共施設の転活用などの検討	2	【施策評価のみ】未利用公共施設の有効活用	財産活用推進課	【施策の内容】各局への未利用公共施設の情報提供や有効活用を調整する。	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	課長	— 人	—	—	未利用の公共施設について、各局へ情報提供を行うことで活用の検討を促すとともに、市有財産利用調整協議会において活用方法の調整を行った。 また、新たに発足した未利用市有地对策検討会においても、未利用の公共施設を含めて検討を行った。	順調	今後も引き続き、未利用の公共施設の転活用可能なものについては、有効活用を図れるよう取り組むとともに、公共施設マネジメントとも連動した有効活用に積極的に取り組む。	
						実績	—	—	—					係長	— 人						
						達成率	—	—	—					職員	— 人						